

間接疑問文

間接疑問文とは

間接疑問文とは文章の中に聞きたい事が組み込まれている文章、つまり二つの文を一つにまとめた文章です。例えば、目の前に置いてある物が何であるか知りたい時、直接「これは何ですか？」聞く場合は”What is this?”ですね。直接聞いているのでこれを直接疑問文と言います。

これに対して、「これは何か教えてください」とか「これが何か知りたいです」のように間接的に聞く文章を間接疑問文といいます。

間接疑問の例文と語順の変化について

例えば「これは何か教えてください」は”Please tell me what this is.”となります。

これは下記のように、②の聞きたい事「これは何ですか？」が①の”Please tell me”「～を教えてください」の文章に組み込まれた間接疑問文です。

直接疑問文の時とは語順が少し違う事(青字の部分)に注意して下さい。間接疑問文では下記の①+②や③+④や⑤+⑥の文章のように疑問詞の後ろは肯定文の語順[疑問詞+主語(S)+動詞(V)]の順になります。

①：～を教えてください：Please tell me ～.

②：これは何ですか？：What **is this**?

①+②：「これは何か教えてください」：Please tell me what **this is**.

次に「これが何か知りたいです」の場合は下記のように①+②の文になります。

③：～が知りたいです：I would like to know ～.

④：これは何ですか？：What **is this**?

③+④：「これが何か知りたいです」 I would like to know what **this is**.

さらにもう一つ例文です・・・

⑤：～を教えてください：Could you tell me ～.

⑥：今何時ですか？：What time **is it** now?

⑤+⑥：「今何時か教えてください」：Could you tell me what time **it is** now?

直接疑問と間接疑問の使い分けは日本語での会話と同じような感じだと考えていいと思います。例えば見知らぬ人に時間を尋ねる時などは直接疑問「今何時ですか？」より「今何時か教えてください」のように間接疑問文を使いますよね。

直接疑問文と間接疑問文の語順が変わらない場合がある

ここまでは直接疑問文と間接疑問文では語順が変わりますよ・・・要注意ですよ・・・と言ってきましたが実は語順が変わらないパターンもあります。それが次の文章の場合です。

「公園で何が起こったのか教えてください」の場合は下記のように⑦+⑧の文になります。

⑦：～を教えてください：Please tell me ～

⑧：公園で何が起こったのですか？：What **happened** in the park?

⑦+⑧：Please tell me **what happened** in the park.：「公園で何が起こったのか教えてください」

上記の②や④や⑥の直接疑問文と⑧の直接疑問文を比べてみて下さい。語順に違いがある事がお分かりいただけると思います。

⑧の「何が起こったの？」は、主語である「何」が公園で起こったのかを尋ねる疑問です。このように主語の「何」を尋ねる疑問文は、通常の肯定文の主語「何」を”what”に置き換えるだけで疑問文が完成します。例えば公園で火災が起こったとすると「公園で火災が起こりました」は

”A **fire happened** in the park.”となり、何が起こったかを尋ねる場合は主語の”A fire”を”what”に置き換えるだけです。これが⑧の文章です。もう一つ、主語を尋ねる疑問文の例文を紹介します。

例文) A movie poster is on the wall. 「映画のポスターが壁に貼ってある」

この場合、何が貼ってあるのかを尋ねる時は主語の "A movie poster" を "what" に置き換えて…

What is on the wall? 「何が壁に貼ってあるのですか?」となります。

さて、ここで思い出して下さい・・・『間接疑問文では疑問詞の後ろは肯定文の語順 [疑問詞+主語(S)+動詞(V)] の順になります』でしたね。ところが、この ⑦+⑧ の間接疑問文では [疑問詞+主語(S)+動詞(V)] ではなく {疑問詞+動詞(V)} になっていますね。これは[疑問詞+主語(S)]の部分疑問詞でもあり主語でもある "what" の一語で置き換えられているからです。

このように直接疑問の部分主語を尋ねる疑問文の時は [疑問詞+動詞] のような形になります。この形の文章は間接疑問文に組み込んだとしても語順は変化しません。

このように語順の変化を伴わない間接疑問文は疑問詞 "what" と "who" を使った時のみです。

"what" 以外の疑問詞を使った間接疑問の例文

最後に、"What" 以外の疑問詞 who/where/when/why/how を使った間接疑問文もよく耳にしますのでご覧下さい。どの疑問詞でも基本的な語順のルールは "what" の時と同じです。

★ who (誰なのかを間接的に尋ねたい時に使う)

例1) Do you know who she is? 彼女は誰なのかご存知ですか?

[Do you know ~ + Who is she?]

例2) Could you tell me who will come next? 次は誰が来るのか教えて頂けますか?

[Could you tell me ~ + Who will come next?]

*Who will come next? 「次は誰が来るのですか?」は、誰が来るのか主語を尋ねる疑問文ですから間接疑問文に組み込んだでも語順は変わりません。

★ where (どこなのか場所を間接的に尋ねたい時に使う)

例3) Nobody knows where he has gone. 彼がどこに行ってしまったのか誰にもわからない

[Nobody knows ~ + Where has he gone?]

例4) Could you tell me where the post office is? 郵便局がどこにあるか教えて頂けませんか?

[Could you tell me ~ + Where is the post office?]

★ when (いつなのかを間接的に尋ねたい時に使う)

例5) I don't remember when I met her. 私は彼女といつ会ったか覚えていない

[I don't remember ~ + When did I meet her?]

例6) Do you know when his birthday is? 彼の誕生日をご存知ですか?

[Do you know ~ + When is his birthday?]

★ why (なぜなのか理由を間接的に尋ねたい時に使う)

例7) Could anybody tell me why it was postponed? なぜそれが延期になったのか誰か教えてくださいませんか

[Could anybody tell me ~ + Why was it postponed?]

例8) I asked him why he didn't come to work? 私は彼になぜ仕事に来なかったか尋ねました

[I asked him why ~ + Why didn't he come to work?]

★ how (どのように、あるいはどれくらいなのかを間接的に尋ねたい時に使う)

例9) I would like to know how she passed the exam. 彼女がどうやって試験に合格したのか知りたい

[I would like to know ~ + How did she pass the exam?]

例10) Please tell me how much this is. これはいくらか(値段を)教えて下さい

[Please tell me ~ + How much is this?]

= 以上 =